

■市民対話の開催状況について

●鎌倉市本庁舎等整備市民対話（第5回）の開催状況（速報）

0. 実施概要

市民目線や市民感覚を取り入れた「本庁舎等整備基本構想」の策定を目指し、取組状況を市民の皆さまに広く共有するとともに、新たな本庁舎のあり方・理念について多様な意見を伺うことを目的に、次のとおり鎌倉市本庁舎等整備市民対話（第5回）を開催しました。

1. 開催概要

市民対話（第5回）は、公募市民の方々を交えて開催した拡張ワークショップを含めたこれまでの市民対話（第1回～第4回）で話し合ってきた、新たな本庁舎のあり方と機能について振り返りながら、基本構想における基本理念や基本方針への反映について話し合っていました。その後、今後の本庁舎整備への関わり方などについて、意見をいただきました。

日時 平成30年11月3日（土）午後2時～4時

会場 鎌倉市役所 本庁舎4階 402会議室

出席者 市民対話メンバー13名

傍聴者2名

鎌倉市（行政経営部（服部）、公的不動産活用課（関沢、石塚、江川））
㈱都市環境研究所等（大野、西村、荻原*、笥*）

*ファシリテータを務める。

プログラム

- (1) 対話の目的や進め方の共有
- (2) これまでの市民対話と拡張ワークショップの成果の振り返り
- (3) 現時点の基本理念案や基本方針案の共有
- (4) 成果に参加者の思いが込められているかについて対話
- (5) 一人一人の思いの共有
(今後の本庁舎整備への関わり方、進め方などについて)
- (6) クロージング

2. 対話等の概要

(1) 対話の目的や進め方の共有

- ・ 鎌倉市からの挨拶に続き、ファシリテータから、本日の対話の目的と進め方について説明しました。

(2) これまでの市民対話と拡張ワークショップの成果の振り返り

- ・ 壁に貼り出したこれまでの市民対話の成果をファシリテータから共有し、これまでの対話について参加者全員で振り返りました。



会場の様子（これまでの成果の振り返り）

(3) 現時点の基本理念案や基本方針案の共有

- ・ 鎌倉市から市民対話の成果を踏まえた本庁舎のコンパクト化、基本理念案「コンパクトなスマート本庁舎」や基本方針案の検討状況について、第3回本庁舎等整備委員会の資料をもとに説明しました。

(4) 成果に参加者の想いが込められているかについて対話

- ・ 参加者全員でこれまでの市民対話の成果を振り返りながら、基本構想への反映の仕方について対話しました。対話された主な内容は、次のとおりです。

基本理念へのフィードバック：

- ・ 「コンパクト」という言葉はわかりやすく、これまでの対話の内容にも沿う。一方、「スマート」という言葉は、いろいろな意味や捉え方があるので、ピンとこない。できれば「スマート」という表現は変えてほしい。

基本方針へのフィードバック：

- ・ 5つの基本方針はまとめられすぎて、どの市でも使えるものに見える。もっと「鎌倉らしさ」を込めたい。市民対話から出た6つの意見グループの方が鎌倉らしさが出ている。また、建物（ハード面）のイメージが少し強い基本方針に見える。ソフト面ももっと含めたい。
- ・ 鎌倉は複数のエリアに分かれているのが特徴であり、「ネットワーク」は大切という意見が多かった。「鎌倉らしさ」につながることもあり、市民の意見として残してほしい。
- ・ 鎌倉で職住近接ができるように、企業向けの施策（たとえば、ある程度の大きさの企業が入居できる空間の提供）をもっと考えてはどうか。
- ・ これまでと今後の進め方へのフィードバック：
 - ・ 水害・浸水、ボーリング柱状図、交通費情報などの共有が不十分。

- ・ 広く公募の市民との対話もあるべき。
- ・ 平常時と緊急時（災害時）に必要な機能を洗い出して、分けて整理してはどうか。平常時はコンパクトでいいが、緊急時にも困らないことは示してほしい。



会場の様子（基本構想への反映についての対話）

(5) 一人一人の想いの共有

- ・ 今後の本庁舎整備の進め方と関わり方について、参加者一人一人から意見をいただきました。

(6) クロージング

- ・ 閉会に当たって、参加者の皆さんに、市長が謝辞を述べました。その後、参加者全員で記念撮影を行いました。



挨拶する松尾市長



参加者の皆さん